

国際先導研究 審査結果の所見

課 題 番 号	22K21353
研 究 課 題 名	記憶メカニズムの多次元解析 - nm からメゾスケール/ミリ秒から日スケールまで
研 究 代 表 者	林 康紀
研 究 期 間	令和 4 (2022) 年度～令和 1 0 (2028) 年度
科学 研 究 費 委 員 会 国際科学研究費第二部会 における所見	<p><b>【研究の概要】</b></p> <p>記憶を理解するためには、空間軸はナノからメゾスケールまで、時間軸はミリ秒から日単位の現象までの解析が必要である。そこで、本研究課題では、記憶を中心とした脳の動作原理の解明という共通の関心のもと、京都大学を中心とした国内7研究室と、フランス、米国の研究機関が集結した国際共同研究を推進する。人材育成においては、若手研究者に対して、海外の研究機関と協力して、独立研究職への登用の支援も視野に入れた綿密な指導・支援を行う。</p> <p><b>【学術的意義、期待される成果】</b></p> <p>記憶の仕組みの解明は、極めて重要度・関心度が高く、学術的意義の深い研究であり、ナノからメゾ、ミリ秒から日単位の多次元のスケールで研究を進める戦略はユニークで斬新的である。国内外の実績のある研究チームが連携する体制を構築しており、研究目的を達成するための研究遂行能力、研究環境に関して優位性が高い。</p> <p>また、若手研究者の参画も多く、人材育成の面でも成果が期待される。本研究の成果は、記憶のメカニズムへの理解を大きく前進させ、同時に、認知症や精神疾患などの克服といった未解決課題にも多大な貢献をなすものと思われる。</p>